

平成30年度宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	表彰 区分	氏 名	年齢等	住 所	功 績 等
1	3-1	いわお たてお 岩男 立夫	84	院内町 副	<p>平成10年8月より院内土地改良区理事に就任し、平成12年度より施設の適正な管理体制を築くため駅館川地域の土地改良区とともに、基幹水利施設管理事業や国営造成施設管理体制整備促進事業に取り組んだ。平成18年8月から平成30年7月までの12年間は同改良区理事長として活躍し、その在職中には宇佐地区土地改良区理事長会会長を兼務したこともあり、院内地域だけでなく市全体の土地改良事業にも積極的に取り組んだ。</p> <p>また、氏は、旧院内町の遺族会会長を経て平成21年度から現在まで宇佐市遺族会連合会会長を務めており、平成28年6月からは大分県遺族会連合会会長に就任。英霊顕彰活動を推進するための助成事業、戦没者遺族の処遇改善運動事業などに取組み、市内外で活躍している。</p> <p>永年にわたる氏の土地改良事業を通じた地域農業の維持・発展、及び戦没者遺族の福祉の増進に対する功績は顕著である。</p>
2	3-1	せんざい やすお 千財 康雄	74	大字四日市	<p>昭和41年1月に徳島県勝浦郡から宇佐市へと移住し、みかん園を開墾。その後、茶の栽培がみかん栽培の繁忙期と重ならないことに着目し、昭和49年に茶園を開墾。以降、みかん・茶品目における市内のリーダー的存在として活躍している。平成10年8月から平成14年8月の4年間は、大分県指導農業士として、農業振興はもとより青年農業者育成においても精力的に取り組んだ。</p> <p>また、平成2年5月より、市を通じて、収穫した新茶を市内の各老人福祉施設に寄贈。毎年5月の恒例行事として定着し、多くの高齢者に喜ばれている。</p> <p>さらには、平成2年5月に藤園、平成28年5月にはバラ園を農場内に整備。毎年、市内外から多くの人々が訪れ、市の観光名所となっている。</p> <p>氏の農業振興、及び福祉の増進、観光振興に対する功績は顕著である。</p>
3	3-1	きだちく 佐田地区 まちづくり協議会		安心院町 佐田	<p>平成20年に、市内で最初のモデル校区として、一つの集落では解決し難い身近な課題を小学校区単位で取組む「新たな地域コミュニティ組織」を設立。周辺地域における協働のまちづくり施策の推進体制の礎を築いた。エコ浄化剤「さだクリーン」の製作、子ども通学合宿の実施、地区の偉人顕彰事業など、住民自らが、自然環境保全、子どもの健全育成、歴史・文化等の伝承等といった地域課題の解決に向かう活動を継続しており、昨年度は新たな10年間のまちづくり計画を策定した。</p> <p>これまでの取組が周辺地域の先駆的な役割を果たしたことに加え、その取組を振り返り今後10年の活動につなげる会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ、考え、行動し、より住みよい地域を作りあげようとする住民自治の推進に大きく貢献している。</p>

平成30年度宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	表彰 区分	氏 名	年齢等	住 所	功 績 等
4	3-1	<small>みなみいん ない</small> 南院内 <small>さとづくり ぎょうぎかい</small> さとづくり協議会		院内町 下恵良	<p>平成20年に、市内で最初のモデル校区として、一つの集落では解決し難い身近な課題を小学校区単位で取組む「新たな地域コミュニティ組織」を設立。周辺地域における協働のまちづくり施策の推進体制の礎を築いた。福島ひまわり里親プロジェクト、南院内小学校ふれあい運動会、75歳以上の一人暮らし高齢者に絵手紙等を届ける「おたよりおごめん」活動の支援等、住民自らが、景観保全、子育て環境整備、高齢者支援等といった地域課題の解決に向かう活動を継続しており、昨年度は新たな10年間のまちづくり計画を策定した。</p> <p>これまでの取組みが周辺地域の先駆的な役割を果たしたことに加え、その取組みを振り返り今後10年の活動につなげる会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ、考え、行動し、より住みよい地域を作りあげようとする住民自治の推進に大きく貢献している。</p>
5	3-2	<small>いしだ よしひこ</small> 石田 善彦	54	大字長洲	<p>春季県体・県内一周大分合同駅伝競走大会において、平成30年2月の第60回記念大会で35年連続出場を果たした。さらに、通算1,000kmを走破し、史上11人目かつ宇佐市出身者では初となる「鉄人」の称号を与えられた。</p> <p>氏の偉業達成は多くの市民に感動を与え、本市のスポーツ振興に大きく貢献した。</p>